



第66号

発行所
大原野自治連合会
大原野社会福祉協議会

住みよいまち

大原野を目指して



大原野自治連合会長 永谷 文隆

新年あけましておめでとございます。地域の皆様にはご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、大原野自治連合会の諸活動、諸取組みに対して、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本年も昨年同様よろしくご協力ご支援をお願い申し上げます。

昨年は、大原野自治連合会の諸活動、諸取組みに対して、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本年も昨年同様よろしくご協力ご支援をお願い申し上げます。

被害がありました。今後とも自然災害について注意深く見守る必要があります。

被害がありました。今後とも自然災害について注意深く見守る必要があります。

あなたの社協に

地域福祉の充実を目指して

大原野社会福祉協議会長 小原 喜信

明けましておめでとございます。皆様おそろいで幸多き新年をお迎えのことと存じます。

一人暮らしの高齢者の会「なぬか会」の日帰りバス旅行で、港町神戸のエキゾチックな風景と潮のかおりを十二分に堪能してきました。

地域防災と消防団の役割

大原野消防分団 灰方・石見班

謹んで新年のお慶びを申し上げます。大原野地域にお住いの皆様には、日頃から消防団活動に温かいご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。大原野地域にお住いの皆様には、日頃から消防団活動に温かいご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。

地震や昨年7月の九州北部豪雨が記憶に新しい。同じような自然災害が、いつ大原野の地で起きてきても不思議ではありません。

地震や昨年7月の九州北部豪雨が記憶に新しい。同じような自然災害が、いつ大原野の地で起きてきても不思議ではありません。

心鏡邑和

●高齢化社会。健康志向

ブームで健康食品やサプリメントが溢れかえっている。昔からシジミやウコンは二日酔い、イチョウの葉は物忘れに良いなどと言われてきたが、今ではそれが錠剤に健康ブームのせいかわからず、最近「医心方」という古い医学書が注目されている。「医心方」は平安時代に京都で編みだされた日本最古の医学書で全30巻、病気の治療法、予防医学、美容法など、あらゆる知識が結集されている。国宝に指定されており、一部は京都の仁和寺所有になっているが、ユネスコの「世界記憶遺産」への登録を目指す動きもある。「医心方」を現代語に訳した横佐知子氏によると、千年前の医学書の中に現代にも通じる古代の知恵が盛り込まれているという。例えば「納豆は極めて優れた食品」、「シジミは視力低下に効く」、「酢卵パックは美白効果がある」等々。他にも現代と同じ治療法が数多く登場し、今後「医心方」をヒントにした新薬が開発されるかも知れないという。●齢のせいで物忘れがひどくなった。物忘れに効くイチョウの葉の錠剤を買ったが、どこにしまったのかを忘れてしまった人がいたという笑話。話を聞いたことがある。だが、誰から聞いたのかどうしても思い出せない。(京都放送 中澤隆司)

大原野歴史同好会通信 (27)

出灰の歴史について

いずりは
西城氏に案内を頂く

春日町集落センターに13時に集合。出灰へは本来、坂本から金蔵寺・外畑経由で行くのが近いですが道が狭く急な道で車の離合が難しいので亀岡経由で行きました。

出灰の地名は算出する石灰を御所に貢献していたのが由来で、出灰川が京都市と高槻市の境界であり、川を挟んで集落が点在している。

西城氏に最初に案内を頂いた住吉神社は、街道より出灰川を渡り山道を行く。暑い日であったがやはり木の繁りで暑さを忘れるくらいであった。お社は周りを木が茂る小さな古いお社で、石灯籠には住吉大明神・柏森大明神と彫ってあった。

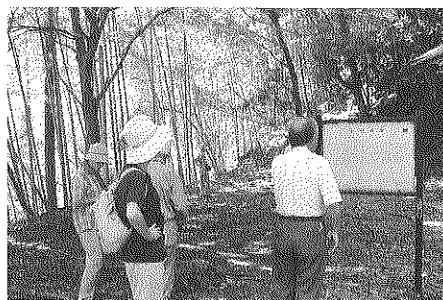
その後一休和尚が開いた戸陀寺跡へ行く。一休和尚は1442年(嘉吉2年)土一揆で騒然とした京都を脱出、譲羽山(出灰)に入った。出灰はボンボン山の西のふもとである。後小松天皇のお子様とされる一休和尚は、ここで餓死を圖ろうとしたこともあった。とんち話の一休さんのイメージとの落差が大きい。

京都を出た一休和尚は下桂―大原野から西山の峰を超え、外畑、中畑を経て出灰に入ったのだろう。ただ、西山のどこを超えたのか。①善峯寺②

金蔵寺③小塩山経由の3ルートが考えられる。一休和尚年譜によれば道中は、息をのむ思いで鬼の出入りする路という関門を抜けると、今度は山犬や虎の足跡だと書いてある。一休和尚は出灰をまるで黄泉の国と書き、寺の名を、墓地を意味する戸陀寺とした。一休和尚の出灰での隠棲は5年に及んだ。

その後、高槻市にある田能川の二ワトリ石を案内して頂いた。二ワトリ石には「金の二ワトリ伝説」。昔正月元旦の朝に出灰の男が独りこの岩の横を通りかかるとその岩の上で金色の鶏が鳴いていたとの言い伝えが残っている。それからこの岩を二ワトリ石と言われるようになる。二ワトリ石の中には何か宝物が入れていると、岩の南向きの方の上に直径60cmくらいの丸い穴が在って別の白い石灰岩で蓋をしたようになっていた。

又、二ワトリ石をキリスト教の祭壇として礼拝の場所としていた伝説。「隠れキリシタンが居た伝説」(高山右近時代)。高山右近が高槻城主だった期間は12年間でしたが、高槻の領民25,000人のうち、18,000人(72%)がキリシタンでした。高山右近は、1



に座してみると、十数人が誰にも見つからずに、この大自然の中で礼拝が可能でした。高槻とその周辺に住む隠れキリシタンたちは随分遠い回り道をして、この自然の中の秘密の信仰の場所「教会」に辿り着いたのです。千提寺や下音羽から、亀岡から、尺代から、来たのではないのでしょうか。この谷間の斜面にある重要な祈禱の用具などを隠したという石組みの四角の穴から、おそらく組み立て式の十字架などを出して「ニワトリ石」の上に安置し、礼拝したのでしよう。このような秘密の共同礼拝の場所は他にもあったと思われます。

その後、高槻森林観光センター「檜田温泉」でお茶を飲みながら出灰についての話を聞くことができました。(連絡先) 齋藤利一郎(北春日町野田) 電話 331-0918 FAX 331-0918 までお願いします。

共に歩み、

地域に寄り添う活動を

大原野民生児童委員協議会長 小原節子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃は何かと民生委員活動にご協力頂き有難うございます。私たち民生児童委員は、地域の皆様への支援やご相談事に応じています。特に、お一人暮らしの高齢者の方につきましては、老人福祉員と共に、声かけや、見守りを行っています。

また、民生委員は全員、児童委員も兼ねていますので乳幼児から中学生まで、子ども達にかかわる問題も担当しています。又、児童専任の主任児童委員も活動しています。今、この大原野地域では、少子高齢化が急速に進み、お一人暮らしの高齢者が300人近く、又、

『なぬか会』日帰りバス旅行

―神戸・森永乳業工場見学とめんたいパーク―

10月5日(木) 秋空の下、会員とスタッフ総勢36名は、神戸方面へ日帰りバス旅行に行きました。

森永乳業は、地球の温暖化対策について考えた工場、ほとんどオートメーション化され、1時間約10万本の飲料が次から次へと出来上がり驚くばかりでした。見学後牛乳と酢を使ってチーズ作り体験をし、クラッカーが出来たてチーズとジャムをのせておいしく頂きました。

次に、メリケンパークオリエンタルホテルの海見えるステキなレストランでの昼食。和洋中、イタリアン、デザートなど盛りだくさんのお料理の中からお好きな料理を選び、お腹いっぱい食べ過ぎるほど美味しく頂きました。日常から離れた夢のようなホテルの空間で、ブティックやお店を見て回っているとアツという間に集合時間。

帰りは、めんたいパークです。明太子の知識を聞いて製造工程を見学し、出来たての明太子を試食して、色々な明太子商品を買って、帰路につきました。

秋の日の心に残る思い出の一頁になりました。(治田)

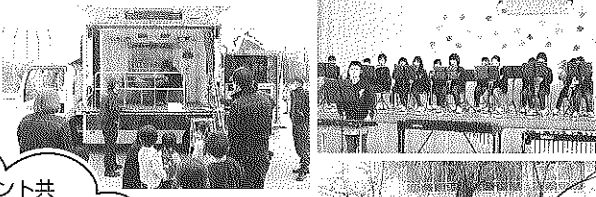
京都市生涯学習フェスティバル 第23回 フェスタ大原野

広げよう地域の輪 深めよう心と心のふれあいを

とき 11月12日(日) 午前10時～午後2時30分
ところ 大原野中学校

イベント内容

こもれびコンサート、模擬店、喫茶、お茶席、森林公園展示、作って遊ぼうコーナー、缶バッチ、パワチ、迷路、展示コーナー、安心安全コーナー、健康教室、福祉体験、竹細工、囲碁・将棋、自主防災、軽スポーツ、消防団ふれあいコーナー、農産物、花トピア、ポストショップ、フリーマーケット、スタンブラー、育児中ママの休憩室、洛西工コまちステーション、西京塾など



腹方の皆さん、ご苦労さまでした。

おいしい野菜、米、豊かな田園風景、趣深い寺社など 大原野の魅力が なんやかんや! フード・food 大原野2017

とき 11月25日(土) 午前10時～午後2時
ところ 大原野神社

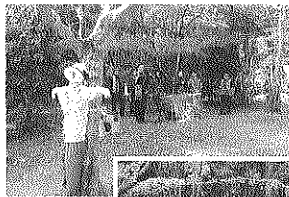


大原野をたのしむ

農産物の品評会と即売会
地産の新鮮野菜・味噌・花の苗などの直売、手作り体験など

大原野でく

杜のコンサート
いろいろなライブ演奏てんこもり



大原野をあじわう

地産の食材を使った
お料理もりだくさん



今年も両イベント共
雲ひとつない秋晴れにめぐまれ、
大勢の方々に来て頂きました。

沢山の気づきと学習意欲

大原野中学校 校長 濱 昭一

初春の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校教育に對しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年は終わりましたが、平成29年度は3ヶ月ほどを残しています。ここで今年度の大原野中学校の学校教育の取組のひとつである「授業改善」について少し振り返ってみたいと思います。

本校の【目指す生徒像】の中に、確かな学力を身に付けるため、「粘り強く意欲的に学習する生徒」「基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒」「連携・協働しながら問題の解決に当たれる生徒」を掲げています。そこで本校では、授業

改善研究のテーマとして、「生徒の協働的な学び」を取り入れた学習活動で、授業改善をめざして、サブテーマとして、学び合いから、個の学びを深めるために、学習意欲を高め、学習意欲を膨らませるの

「生徒の協働的な学び」とは、50分の授業の中で15分・25分ほどを使って、教師の出した課題・発問に對して2人ペアや4人組グループで意見を出し合い、質問し合い、教え合い、学び合うということです。この「学び合い」こそが、本研究の重要な主眼としています。

この授業改善研究が実現するものとなり、教師の授業力の向上・子供の学力の向上に結びつくことを信じています。

「生徒の協働的な学び」とは、50分の授業の中で15分・25分ほどを使って、教師の出した課題・発問に對して2人ペアや4人組グループで意見を出し合い、質問し合い、教え合い、学び合うということです。この「学び合い」こそが、本研究の重要な主眼としています。



大原野の地域に学ぶ

上里小学校 教頭 渡辺 壽男

「秋の日はつるべ落とし」とは、よく言われますが、本当に日の暮れるのが早くなりました。部活帰りの子ども達も、安全に帰宅してほしいものだと思います。

さて、上里小学校では、今年度もたくさんの方の行事や学習で、地域の皆さんにお世話になりました。本校の特徴の一つは、地面

この「学び合い」を通して、子供たちは目の前の課題に對して、子供たち同士で「質問する」「伝える」「聴く」「教える」「学ぶ」といったコミュニケーションにより学びを深めていきます。このような多くの「小さな学びの空間」において「なるほど」「そうなんだ」といった沢山の気づきが、基礎学力を定着させ、学習意欲を膨らませるの

この授業改善研究が実現するものとなり、教師の授業力の向上・子供の学力の向上に結びつくことを信じています。

この授業改善研究が実現するものとなり、教師の授業力の向上・子供の学力の向上に結びつくことを信じています。

この授業改善研究が実現するものとなり、教師の授業力の向上・子供の学力の向上に結びつくことを信じています。

温かく子どもたちを

見守りながら 健やかに

大原野小学校 教頭 日吉 肇

保護者の皆様、地域の皆様には、希望に満ちた平成30年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、昨年中は本校教育の推進に、ご理解、ご協力、ご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

昔から「一年の計は元旦にあり」と言われていますが、「今年はどうなるか」というのは、紙で作った置物であり、子どものそばに置いておくことで災いや魔物を避けるため、お守りとして利用されていることもよくあります。本年も、学校と地域、保護者の皆様とともに子どもたちが安心して健やかに成長できるように祈念したいと思います。

さて、1月9日から授業が始まります。6年生は卒業を意識すると共に中学校進学への準備も始まります。5年生は最高学年への引き継ぎを意識した活動、1・4年生は進級に向けた学年まとめのための大切な活動も増えてきます。特に6年生は、卒業に向けて小学校の総まとめをしなくてはならない時期です。多感な時期の中学校生活は自分一人です。多感な時期の中学校生活は自分一人です。多感な時期の中学校生活は自分一人です。

卒業に向けて小学校の総まとめをしなくてはならない時期です。多感な時期の中学校生活は自分一人です。多感な時期の中学校生活は自分一人です。多感な時期の中学校生活は自分一人です。



共同募金 金、485,300円

(平成29年度、12月7日現在)

ご協力ありがとうございました。多くの方々のお世話になり、上記のご厚意を頂き、誠に有難うございました。早速、共同募金会へ納めさせて頂きました。

《天ぷら油回収》

月～金 A.M.9:30～P.M.4:00
大原野総合自治会館
一 持参した容器は必ず持って帰って下さい

《アルミ缶プルトップ回収》

月～金 A.M.9:30～P.M.4:00
大原野総合自治会館
プルトップをあつめて車椅子をもらいましょう。ご協力をお願いします。

—— 車椅子を貸出しています ——



大原野こども園

園庭に、職員手作りのブランコが誕生。全身を使ってブランコをこぎながら風を感じる子ども達です。



大原野幼稚園



10月31日に年中児クラス89名と、福島から幼稚園留学に来られたお友達2名とでみかん狩りに行きました。みかんをいっぱい食べ秋を満喫しました。

上里竹の子こども園

昨年の秋にみんなで植えた玉ねぎ。



みんなたくさん採れました。美味しいオニオンスープ、みんなで頂きます。

のびゆく園児たち

体振だより

H
O
P
!

S
T
E
P

J
U
M
P

!!!

ホ
ッ
プ
!

ス
テ
ッ
プ

ジ
ヤ
ン
プ

!!!

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年、大原野体育振興会の活動に対し、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昨年の事業も地域の皆様のご理解により各大会が盛会にすることができました。
秋の区民体育祭も天候に恵まれ、16町13チームの参加を頂き、混戦の中、春日町が総合優勝に輝かれました。大会の開催に当たり、地域住民の皆様、各企業、各団体の皆様に多大なご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。
体育祭を機に、スポーツが皆様の暮らしの中で一層身近なものとなり、健康づくりの取組の輪が大きく広がることを願っております。
これからも市民スポーツ、地域スポーツの発展に役員一同頑張って参りますので、より一層のご理解を頂き、多くの皆様が積極的に参加して頂く事をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。
大原野体育振興会長 上田清和



平成29年度事業 今後の予定
平成30年
1月21日(日) 西京区ボウリング大会 (しょうざんボウル)
2月4日(日) 大原野区民卓球大会 (大原野小学校)
2月18日(日) 京都マラソン (スタッフボランティア参加)
2月25日(日) 洛西七地域冬季大会 (大原野小学校)
3月25日(日) 里山ウォーキング (主催: 森林公園運営管理協会)
京都マラソン2018 平成30年 2 月 18 日 (日) 開催
(ノーマイカーデーに御協力をお願いします。)

大原野地域の主な行事予定

(平成30年 1 月 ~ 6 月)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1月8日(月) 出初式 | (大原野消防分団) |
| 1月21日(日) 風揚げ大会 | (少年補導委員会) |
| 2月中 社協賛助会員募集運動 | 西京全域 |
| 3月7日(水) “なぬか会” | (大原野社会福祉協議会) |
| 3月11日(日) 第46回クリーン作戦 | 管内全域 |
| 3月15日(木) 大原野中学校 卒業式 | |
| 3月22日(木) 大原野・上里小学校 卒業式 | |
| 3月25日(日) 里山ウォーキング | (体育振興会・少年補導委員会) |
| 4月6日(金) “なぬか会” | (大原野社会福祉協議会) |
| 4月9日(月) 大原野中学校 入学式 | |
| 4月9日(月) 大原野・上里小学校 入学式 | |
| 4月21日(土) 自治会長会議 | 大原野総合自治会館 |
| 5月中 日赤社資増強運動 | 全国一斉 |
| 5月19日(土) 社会福祉協議会 評議員会 | 大原野総合自治会館 |
| “ ” 自主防災会総会・自治会長会議 | “ ” |
| 6月上旬 “なぬか会” | (大原野社会福祉協議会) |
| 6月14日(日) 社協ふとんクリーニング | 右京の里地域のみな |

定例会議／事業

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 自治会長会議 | 毎月第3土曜日 |
| 使用済み食用油回収事業 | 毎月第3土曜日 |
| 大原野小学校 古紙回収 (PTA) | 毎月第2土曜日 |
| 上里小学校 古紙回収 (PTA) | 毎月第3木曜日 |
| 大原野中学校 古紙回収 (PTA) | 毎月第4金曜日 |
| ◇子育て支援事業(対象者:これからママになる方、0～3才の乳幼児とその親) | |
| ●ママ・ちゃいるど大原野 | 会場は大原野中学校他4か所を順番に
(10:00～11:30) 毎月第2木曜日 |
| 《社会福祉協議会》関係 | |
| ◇健康すこやか学級 (対象者: 65歳以上の方) | |
| ●やさしい筋トレ | 大原野総合自治会館 毎月第1・3木曜日 |
| “ ” | 右京の里会館 毎月第2木曜日 |
| ●たのしい筋トレ | 上里小学校コミュニティホール 毎月第4木曜日 |
| ●おしゃべり会 (年齢制限無し) | 右京の里会館 毎月第3火曜日
(8月は休み) |
| ●まろやかクラブ (囲碁・将棋) | 中央老人クラブハウス 毎週火曜日 |

大原野森林公園
17年のあゆみ

大原野森林公園
運営管理協会 副会長 畑 孝二

謹んで新年明けましておめでとうございます。旧年中は公園事業にいろいろとご理解を賜りありがとうございました。
公園も今年で17年の年月が過ぎました。当初は、公園としてどうすれば良いのか、ということに悩ましました。皆様に楽しんで頂ける公園として日々努力して参りました。活動は主に巡視、園路管理、倒木処理、植林木の間伐、案内所の業務等々、いろいろ多くあります。そして、広さが134haという大変な広さの中で、平成25年の豪雨により、公園内のかまが谷で土砂崩れが発生し、直径30～50cm・長さ20～30m程の杉の太木が谷を塞いでしまいました。その処理に、11月から12日間、延べ180

少年補導の新春風揚げに参加しよう
— 1月21日(日) 10時 —

西京少年補導委員会
大原野支部長 吉田 亨

明けましておめでとうございませう。地域の皆様には、少年補導にご支援ご協力を頂き誠にありがとうございます。とうございませう。
平成29年度もあと3ヶ月となりました。夏休みパトロール(朝・昼・夜間15回)・秋のブドウ狩り・こどもみこし・冬休み夜間パトロールも終わり、あと里山ハイキング・春休み夜間パトロール・新春親子風揚げとなりました。
風揚げについては、現在、自治会を通じて回覧中です。見落としておられた方は当日参加でも受け付けます。自宅にある風で結構です。低学年のお子さんの場合は家族同伴でお願いします。雨の

名程の人員で作業したことは、今でも忘れられません。本当に大変でした。
又、平成27年12月に環境省から、生物多様性保全上重要な、里地里山500ヶ所に選ばれ、京都生物百選に選定されました。ところが、ここ10年程前から、野生の鹿が貴重な植物を食い荒らし困っています。その対策をいろいろと講じてきています。
冬場の作業としては、ナラ枯、枯松の伐採をし

ます。松の種は日が当たらないと発芽しないので、放置しておくと松山がなくなり、雑木山となってしまう。そのため伐採をして松の再生に取り組みんでいます。伐採からもう10年になり、若松が人の身丈ほどになりました。一年を通じて、春は山つつじ、夏は大キツネのカミソリ、秋の紅葉、絶景です。冬は福寿草と見所いっぱい。福寿草については、2月・3月の約40日間、現地で監視業務を行っています。雪が20cmから30cmも積もる時があり、大変です。こ

福寿草

編集余談

今年、明治維新から150年になります。ここ大原野は、昔の農業主体の環境から如何に変わったか。変わらな環境が良いという意見もあるが、「とし計画」を思ふに、今の状態は疑問がある。活気あるまち大原野に変わることを願います。
「大原野だより」66号への寄稿・ご協力ありがとうございました。併せて皆様方のご意見・投稿をお待ちしています。
(仙)